

平成29年度「学校評価」まとめ（12月）

◆あたたかな言葉をつかう子

内 容	7月 評価(%)	10月 評価(%)	12月 評価(%)
児童 はっきりと、自分から、目を見て、あいさつができた。	95.1	95.2	97.6
保護者 お子さんは、進んであいさつができた。	87.8		<u>80.5</u>
教職員 児童は、はっきりと自分から目を見てあいさつができています。	100		100
児童 自分から「ありがとう」「ごめんなさい」が言えた。	97.6	95.2	100
保護者 お子さんは、自分から「ありがとう」「ごめんなさい」が言えた。	75.6		85.4
教職員 児童は、自分から「ありがとう」「ごめんなさい」が言えた。	100		100

【成果と課題】

学校では、あいさつと言葉使いを核とした人間関係づくりにより、子供たちの意識が一段と高まっている。家庭においても、感謝の気持ちなどを素直に言える子が増えた。

家庭でのあいさつについては、12月に行われた懇談会で出された以下の意見を今後の取組に生かしていきたい。

- ・「おはよう」「いってきます」「ただいま」「いただきます」「ごちそうさま」など、今しっかりとできている基本のあいさつを家庭でも継続していく。
- ・子供の友達が遊びに来た時には、自分の子供と同様に地域の子供たちにもあいさつの大切さを教えていきたい。
- ・登下校中だけでなく、地域で遊んでいるときにも地域の人に自分からあいさつができるようにしていきたい。

◆めあてに向かってまなぶ子

内 容	7月 評価(%)	10月 評価(%)	12月 評価(%)
児童 聞いて考える（賛成、反対、付けたし、質問）ことができた。	92.7	92.9	97.6
保護者 お子さんは、人の話を聞いて考えることができた。	85.4		78.0
教職員 児童は、聞いて考えることができた。	33.3		33.3
児童 自分の考えがノートに書けた。	95.1	92.9	97.6
保護者 お子さんは、自分の考えがノートに書けた。	78.0		82.9
教職員 児童は、自分の考えがノートに書けた。	50.0		66.6
児童 家庭学習を学年×10+10分行った。	95.1	90.5	<u>90.2</u>
保護者 お子さんは、家庭学習を学年×10+10分行った。	56.1		68.3
教職員 児童は、家庭学習を学年×10+10分行った。	100		80
児童 年間目標読書量を達成することができた。	63.4	73.8	80.5
保護者 お子さんは、進んで読書をしていた。	61.0		65.9
教職員 児童は進んで読書をしていた。	100		100

【成果と課題】

授業に関する項目については、「聞き方や考えの持たせ方に対する全校共通した指導」により、力が伸びてきた子供が増えた。また、読書週間における工夫した様々な取組により、読書量が増えつつある。

家庭での学習時間については、保護者評価の数値は上がったが、児童評価は下がっている。「自主勉強」や「読書」（読書時間を自主勉強の時間としてカウントすることも可）指導に今後も力を入れることにより、向上を図っていく。

◆心も体もたくましい子

内 容	7月 評価(%)	10月 評価(%)	12月 評価(%)
児童 めあてに向かって運動をがんばることができた。	92.7	85.7	97.6
保護者 お子さんは、進んで運動したり、外で遊んだりすることができた。	90.2		85.4
教職員 めあてに向かって運動をがんばることができた。	100		100
児童 起きたり寝たりする時刻を守ることができた。	85.4	85.7	87.8
保護者 お子さんは、起床就寝時刻を守ることができた。	85.4		85.4
教職員 児童は、起床就寝時刻を守ることができた。	100		83.3
児童 好き嫌いなく食事ができた。	92.7	92.9	95.1
保護者 お子さんは、好き嫌いなく食事ができた。	87.8		73.2
教職員 児童は、好き嫌いなく食事ができた。	100		80



【成果と課題】

運動に関する項目については、「記録の伸びが分かる学習カードの活用」等により、児童の評価が上がった。特に、持久走大会に向けて自主的に練習する子が多く、心と体を鍛えることができた。

食事に関する項目については、保護者の評価が低くなっている。学校では、日常的な給食指導の他、会礼での校長の話において「食事前の『いただきます』は動植物の命をいただくという感謝の言葉である」ことを伝えるなどの働き掛けを行っている。さらに、家庭との連携を図り、食べることの意義と結び付けて指導するなど、好き嫌いなく食事ができる工夫をしていきたい。

◆その他（森町共通評価項目）

内 容	7月 評価(%)	10月 評価(%)	12月 評価(%)
児童 授業の内容がよくわかる。	92.7	92.9	90.2
児童 進んで先生に聞いたり、自分で調べたりして学習している。	95.1	92.9	92.7
児童 学校に相談できる人がいる。	82.9	88.1	92.7
児童 私たちの学級（学校）は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある	87.8	88.1	87.8
児童 学校が楽しい。	92.7	88.1	95.1
保護者 先生は、子どものことを理解して指導にあたっている。	100		100
保護者 学校で目指そうとしている子どもの姿や教育内容について知っている。	96.3		96.3

【成果と課題】

職員が児童理解やきめ細やかな指導に努めることを通して信頼関係を築くことができるよう努力を続けることで、「学校に相談できる人がいる」の評価が向上している。今後も、子供たちの信頼に応えられるよう努力を続けていく。